

公益社団法人松阪青年会議所

2017年度 所信

副理事長 濱口 友吾

〈所信〉

戦後の激動する時代の中、このまちの明るい未来をおもい描いた若き青年たちが立ち上がり、松阪青年会議所は設立されました。そしてそのおもいは設立以来脈々と受け継がれ、63年の永きにわたりこの地域に根付いています。

我々青年会議所会員は、時代が変わっても社会情勢が変わっても「明るい豊かな社会の創造」に向け取り組んでいかなければなりません。会員一人ひとりが与えられた職務を全うし、物事を徹底的に考え抜き、青年会議所運動をすることがまちの方々に共感を与え、ひいては未来の青年会議所を創造する一歩であると信じて邁進しましょう。

また我々は企業・団体に属する青年経済人でもあります。20歳から40歳までの限られた時間の中でたくさんのひとと出会い、自己修練し、その積み重ねてきた経験を企業や地域にフィードバックする使命があります。とりわけ青年会議所運動を行うということは、この地域のために、時間を使って活動するという意味においては、人生を懸けて活動しているという自覚こそが大切で、それがなければ同じ時間を費やしても己の成長にはならないということを理解し考動しなければなりません。

本年度公益社団法人松阪青年会議所は、三重ブロック協議会の事務局運営の主管をはじめとし、多くの会員が外向致します。我々はこの外向していただく会員に感謝し、最大限の支援をすることで、出向先での学びをLOMに活かし、組織の進化へと繋げてまいりましょう。

最後となりますが、本年度副理事長という大役を仰せつかり、微力ではございますが、精一杯努力していく所存でございます。会員の皆様におかれましては何卒ご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。